

令和3年7月

第501回 三水会便り

## 「山岳基本法」制定に議員立法で動く

### 古野会長が登山活動の規制強化に警戒発言

日本山岳会の令和3年度通常総会が6月19日開かれた。新型コロナウイルスの感染防止のため出席者を極力制限しての開催だった。内容は、直ちにホームページに掲載された。古野淳会長は、あいさつの中で「コロナ禍で“日常”を失って1年あまり。安心して自由に山に向かうにはもう少しの辛抱」と語った。専門家の力を借りて賢く山に向かうことを考えなければ山はどんどん遠ざかる。国会では「山岳基本法」を議員立法で制定するよう動き始めた。登山活動を規制強化するようなことがあってはならない—などと強調した。残念ながら三水会は、例会・現地集會とも正常に動いていない。7月の通常の例会・現地集會も中止に追い込まれた。新しい試みとして日帰りウォーキングを実施する。(高橋重)

#### 現地集會案内

**NEW** 活動多様化に対応 **日帰りウォーキング**

7/11(日) 町田「小山田緑地」 集合/町田バスターミナル am10:00

新企画「日帰りウォーキング」を実施することになりました。まず町田の小山田緑地。コースによって強弱、いろんな変化を楽しむことができます。試しに、ぜひご参加ください。ゆっくり歩いて3時間くらい。ちょっと物足りないかも知れませんが、加齢に巣ごもりによる運動不足が加わって体力・脚力の衰えは予想以上です。

緑地は多摩ニュータウンに近接する緑豊かな丘陵地にあります。集合/JR・小田急町田バスセンター(西側) 神奈川中央交通14番乗場です。「バスセンター」や「ターミナル」というのがあってややこしいですね。梅雨の終盤です。天候が気になります。荒天中止。実施間際に連絡します◇申し込み先/高橋あかね◇締切7/4(日)◇090-3207-7377 [kilimanjaro5895tanzania@docomo.ne.jp](mailto:kilimanjaro5895tanzania@docomo.ne.jp)



7/19~21(月・祝~水) 上州トレイル 中止

2年続きで計画しましたが、体調を崩したメンバーがいて、今年も中止せざるをえませんでした。残念です。予定は、「上州トレイル/谷川岳肩の小屋~平標山の家。上毛高原集合、越後湯沢解散」でした。係り/征矢

## ■滑志田隆会員が小説集「道祖神の口笛」を出版

滑志田隆会員が小説集「道祖神の口笛」を出版されました。2018年「埋もれた波濤」に続く二冊目。「ミャンマー放生」「漂流船」「ボートは沈みぬ」「道祖神の口笛」——の4編が収録されています。

題がすごい。どれも直ちに読みたくなります。著者の紹介によると、「ミャンマー放生」は、民主化運動が広がる社会主義国ミャンマーを舞台に、観光客と現地人通訳が生の意味を問う物語。臨死の病氣や事故の経験から、自分の生を見つめ直すことがはできるのか。老・病・社の重力を緩和する“旅”という人間行為の魅力—。

「道祖神の口笛」には、戦時下の仙台市を舞台に、大学生の焦燥の日々を通して、虚構の設定が無ければ前にすすむことのできない知性悲しさを描く青春小説。太宰治らしき謎の人物との邂逅—という設定が読み手の想像をかきたてる、と紹介されています。

筆者は、神奈川県生まれ。早稲田大学政経学部卒、1978~2010年毎日新聞社社会部記者として活躍。日本山岳会に1985(昭和60)年に入会。

滑志田隆著「道祖神の口笛」発行2021.06.26、論創社、四六判上製288ページ、定価1800円+税



三水会便り 第501回 発行2021年7月1日 東京都千代田区四番町5-4 日本山岳会三水会便り担当 砂田定夫, 北口マリ子, 山口延子, 文責/高橋重之